

## フォーラム

# 平成17年度人間看護学部FDの活動状況



人間看護学部FD実行委員会

## I. はじめに

ファカルティ・ディベロップメント (Faculty Development 以下FD) の概念も狭義と広義に分けられるが、大学審議会の答申の定義が一般的である。それによれば「大学等の理念・目標や教育内容・方法について組織的な研究・研修 (ファカルティ・ディベロップメント) を推進することが必要である。」(大学基準協会 1989年) と定義している。これは狭義の概念といえるが、授業を中心に個々の教員の教育 (teaching) に関する能力や技術を組織的に研究・研修を行なうことで資質の向上や開発することを意味する。

人間看護学部のFD実行委員会は、活動を開始してはや3年を経過した。その活動は前任のFD実行委員会メンバーのたゆみない努力とその成果であり、2年間の立ち上げを経て3年目を終わろうとしている。2年間の活動を受けて、今年度のFD実行委員会は成果を踏襲しながらも新しいことへの挑戦も含めて活動を実施した。以下はFD概念の具体としての人間看護学部FD実行委員会活動の概要である。

## II. 活動内容

平成17年4月に、人間看護学部は開設3年目となり20名の編入生を向かえ、教育・研究ともいっそう充実し基盤を形成していくことが望まれた。過去2年間のFD実行委員会において蓄積された成果を活用しながら、今年度の目標は、1. 看護学教育に求められる教育・授業資質の向上のための学習とその構築、2. 授業評価に関する資質の向上とその独自の取り組み、3. 看護研究方法

に関する資質の向上、4. 在外研修報告会と広報、であり年間の課題として取り組んでいくことをFD実行委員会として決定した。

### 1. 看護学教育に求められる教育・授業資質の向上のための学習とその構築 (担当: 森下・本田)

平成17年度は、4年制の大学として人間看護学部3年目を迎え看護教育、特に各領域別実習が始まり学生が充実して学べる環境整備と看護教員の資質向上が求められた。3回生の領域別実習では、看護技術等の指導の悩みも含め中間としての形成評価を行う時期となった。そこで教員のニーズが多い実習評価についての講演を実施した。さらに後半の第2部は教員と講師のディスカッションの場を設けた。

第3回 人間看護学部FDフォーラム

日時 平成18年3月22日 (水) 13:00~16:30

第1部 講演会 テーマ「看護学実習の方法論とその評価方法」

講師 東海大学健康科学部学部長 教授 藤村龍子先生

第2部 学部教員研修 教員と講師のディスカッション

参加者数: 第1部 学部内27名 学外65名 第2部 23名

### 2. 授業評価に関する資質の向上とその独自の取り組み

#### 1) 授業評価を実践的に進める講演・研修・研究会 (担当: 甘佐・米田)

前年度は授業評価の取り組みについて視察を中心に学習し報告してきた。それらを受けて今年度は各教員が授業評価を意識できるような企画として教員全体を対象とした講演会を行うことになった。

第2回 人間看護学部フォーラム

日時 平成17年12月26日 (月) 10:00~14:30

第1部 テーマ「授業評価を授業改善に生かすには」

講師 神戸大学教授 米谷淳先生

第2部 午後 教員とのディスカッション

2006年3月10日受付、2006年5月17日受理

連絡先: 森下 妙子

滋賀県立大学人間看護学部

住所: 彦根市八坂町2500

e-mail: morishita@nurse.usp.ac.jp

参加者数：学部内教員26名、学部外教員2名、学外者25名 第2部 18名

## 2) 看護学教育における効果的な授業評価の実験的取り組みと開発 (担当：豊田・比嘉・甘佐)

今年度は、昨年度の「看護教育評価専用ソフトの開発」に引き続き、ワーキンググループと位置づけて活動が続いた。ソフト開発から実用化に向けての時期となり、人間看護学部において看護教育評価専用ソフトの説明会を2回実施した。

第1回 日 時 平成18年2月15日(水)10:00~12:00

第2回 日 時 平成18年4月12日(水)10:00~11:00

第1回目は、看護教育評価専用ソフトを使い、人間看護学部独自の授業評価を行うための研修会を開催した。参加者はFD実行委員会メンバーを中心に、授業評価を実際に行う授業担当の教員であった。第2回目は全教員に呼びかけ実施した。今後はこのツールを如何に活用するかである。人間看護学部独自の授業評価専用ソフト開発であり、各教員が授業評価の意義を理解し活用できるよう、次年度の課題として今後も検討していく。

## 3. 看護研究方法に関する資質の向上 (担当：竹村・西田)

1) 国際的視野に立った研究開発を進めるための講演会

第1回 人間看護学部フォーラム  
日 時 平成17年8月30日(火) 10:00~14:30

第1部 テーマ「質的研究の実際」  
講 師 大阪府立大学教授 羽山由美子先生

第2部 講師と教員のディスカッション テーマ「質的研究に取り組むために」

参加者数：学部内教員16名、学外者21名 第2部 15名

## 4. 在外研修報告会と広報 (担当：大脇・嶋澤)

平成17年度の在外研修報告会は、7名の教員が海外での国際会議や各自の研究テーマについての学びを報告した。内容は多岐に渡り教員のディスカッションを通して学習の場となり、参加者に多くの示唆を与え研究

意欲に繋がった。またFD実行委員会活動レターは、前年度に引き続き、委員会活動の状況を全教員に共有できる目的で4回発行した。ホームページも作成し広報活動に努めた。

## III. 今後の課題

FD実行委員会活動は3年を経過した。上記の目標4点について十分な活動であったか評価はその都度実施し報告してきた。しかし、①各教員が目的を持って積極的に参加・創造できる研修会、②教員の教育・研究に関する資質の向上への貢献等課題がありさらに精査が必要で

表1 在外研修報告会概要

開催日時・場所	テーマ・講師	研修先	参加人数
平成17年6月29日 (水) 16:30-18:30	4年毎ICN大会 in 台湾に参加して 土平俊子 教授	台湾 台北	学部内 25名
	第23回ICN大会における学会発表 の報告 流郷千幸 助手	台湾 台北	
	日本文化における自己の性質 Denise Saint Arnault 研修員	ミシガン州立大学 より滋賀県本学部 へ研修	
平成17年9月28日 (水) 16:30-17:30	ICMブリスベン大会に参加して 岩谷澄香 教授	オーストラリア ブリスベン	学部内 26名
	第27回ICM大会の報告 嶋澤恭子 助手	オーストラリア ブリスベン	
平成17年10月26日 (水) 16:30-17:30	1.2005年国際合同微生物学会 (IUMS 2005)への参加・発表	アメリカ合衆国 カリフォルニア州	学部内 15名 学部外 3名
	2.米国立衛生研究所(NIH)と米国の エイズ治療・教育について 山田 明 教授	メリーランド州	
	中国の看護と教育 蔣 小剣 研修員	滋賀県 海外技術 研修 中国湖南省中南大学 看護学院大学院より 研究目的にて来日 本学部に滞在	
平成17年11月30日 (水) 16:30-17:30	ハワイ州におけるアンケート調査 の実際 竹村節子 教授	アメリカ合衆国 ハワイ州 ホノルル市	学部内 20名

ある。地域に開かれた大学の役割として学外の人々への学習の場も提供してきた。

FDの概念、さらには人間看護学部の理念に立ち返り、

今後も教員相互の教育・研究の啓発や能力開発等に貢献できるFD実行委員会を目指したい。



人間看護学部 2005.9.27  
平成17年度 FD委員会活動レターNO. 1

昨年度、活版に発行されましたFD委員会活動レターに引き続き、本年度も随時活動報告を行うこととなりました。先生方お一人お一人人間看護学部FD活動へのご理解とご協力、誠にありがとうございます。既に今年度も、折り返し地点を過ぎましたが、今後とも引き続きFD活動へのご協力をどうぞ宜しくお願いいたします。

**\*\* 以下FD委員会委員より \*\***

大学での日々の教育・研究、そして毎日起こる身近な学生の出来事、さらには各団体の国際的な教育問題にいたるまで、私たち教員は多くの課題を抱えながら、教育活動に邁進しています。そして大学における教育活動の向上は、各教員の資質向上にかかっているとされています。

FD委員会としては、教員の教育能力開発のため、前FD委員長はじめ委員の先生方の努力によりこの2年間大きく前進しながら今日に至りました。それは意みでありましたと言えます。いよいよこれからは成長を主眼とする時期に入り、前年度までの成果の上にさらに引き続き、FD委員会として発展できればと願っています。FD委員会の目標を達成するため、今後さらに教員の教育能力開発に貢献できるよう、委員一同努力したいと思っておりますので、各先生方のご協力をよろしくお願い申し上げます。



**【平成17年度人間看護学部FD年間計画】**

日 程	事業内容
平成17年 6月29日(水)	第1回在外研修報告会(土平・流御)
平成17年 8月30日(火)	人間看護学部FDフォーラム
平成17年 9月28日(水)	第2回在外研修報告会(岩谷・船橋)
平成17年10月26日(水)	第3回在外研修報告会(山田)
平成17年11月26日(水)	第4回在外研修報告会(竹村)
平成17年12月26日(月)	授業評価 研修会 講師：神戸大学教育研究センター米谷浩氏
平成18年 3月予定	授業開発 研修会(講師交渉中)

さて、先日行われた第1回在外研修報告会と、人間看護学部FD公開フォーラムについてのご報告をさせていただきます。



人間看護学部 2005.11.1  
平成17年度 FD委員会活動レターNO. 2

**お知らせ**

FD委員会は大学内においては、人間看護学部のみ活動であり、開設当初より多くの事業書籍があります。

この活動の認知度を高めるべく、10月より、大学内全体にFDフォーラムなど活動のご紹介をさせて頂くことになりました。10月26日の第3回在外研修報告会終了後国際交流委員会協賛でセミナーを開催し、学部外からの参加者もありました。



**FDフォーラム**

\*\*\*\*\*  
第2回在外研修報告会  
\*\*\*\*\*  
日 時：9月28日(水) 16:30~18:00  
場 所：看護棟会議室(20-201)  
参加者数：2.6名

演 題：16:30~17:00 「1CMブラスベン大会に参加して」 岩谷 浩希 教授



岩谷先生からは学会発表の内容だけでなく、ICMの変遷や学会が主催されたオーストラリア、ブラスベンの様子、居住民の助産活動などについてもご紹介頂きました。

17:00~17:30 「第27回ICM大会の報告」 船橋 恭子 助手



船橋先生からは学会発表の内容と併せて、学会発表を行った日本助産学会 国際助産師協会の活動についてもご紹介頂き、ご発表後、参加者との活発な意見交換がありました。



人間看護学部 2006. 1. 23.  
平成17年度 FD委員会活動レターNO. 3

年も改まり、本年度のFD委員会活動も大詰めを迎え、3月の教育講演を機すのみとなりました。この活動の認知度を高めるべく、大学内外への活動のご案内をさせて頂く他、教育講演などのVTR記録も蓄積しつつあります。ご参加頂けなかった活動については、VTR等をご活用頂ければと思います。



**FDフォーラム**

\*\*\*\*\*  
第4回在外研修報告会  
\*\*\*\*\*  
日 時：11月30日(水) 16:30~17:00  
場 所：看護棟会議室(E0-201)  
参加者数：2.0名

演 題：「ハワイ州におけるアンケート調査の実践」 人間看護学部 竹村節子 教授



海外での研修報告に加え、海外におけるアンケート調査の手続きの方法について、CITI (Course in the Protection of Human Research Subjects)についても詳細な資料とともにご紹介を頂いての勉強会となりました。

参加者の海外調査への興味は大きく、参加者からは沢山の質問があり、活発な意見交換もありました。

**今年度最後のFDフォーラムのご案内**

平成18年3月22日(水)  
第1部 13:00~15:00 公開セミナー：演題「看護学実習の方法論と評価方法」  
講師 東海大学健康科学部 学部長 藤村 龍子 教授  
第2部 15:15~16:00 学部教員研修：藤村先生と人間看護学部教員との懇談会



人間看護学部 2006. 3. 27.  
平成17年度 FD委員会活動レターNO. 4

本年度最後のFD委員会活動レターとなりました。委員会の活動は3月22日(水)のFDフォーラムを最後に、全て無事終了致しました。

**FD委員会 委員長 挨拶**

近畿では桜の開花宣言が出されましたが、人間看護学部では白梅が満開を迎えるこの頃となりました。さて4月にFD委員会メンバーを半分交代し発足して依頼、早いもので1年が経過いたしました。今年度の事業として、①3回の外部講師によるFDフォーラムの開催、②4回7名の先生方のご協力による在外研修報告会、③豊田先生を中心に授業評価のワーキンググループによる看護学部独自の授業評価ツールの完成、④4回のFDレターの発行等、人間看護学部FD委員会の目標達成のため、FD委員一同努力してまいりました。

本学部のFDの概念である「看護学系教員の教育能力の開発」の一助となったかを真摯に問いながら課題を明確にし、次年度に活かしたいと思っております。教員の皆様方、今年度のご協力有難うございました。どうぞ来年度もよろしくご協力申し上げます。

\*\*\*\*\*  
平成17年度 摂泉東立大学人間看護学部FDフォーラム  
\*\*\*\*\*

日 時：3月22日(水)

第1部 13:00~15:00 公開セミナー：演題「看護学実習の方法論と評価方法」  
講師 東海大学健康科学部 学部長 藤村 龍子 教授

場 所：第1部 人間看護学部棟 第1中講義室 E5-101

参加者数：第1部 学部内27名 学外65名



開始前 受付風景

図1 FD実行委員会活動レターNo.1~No.4の表紙

平成17年度FD実行委員会メンバー 筒井裕子、竹村節子、大脇万起子、西田厚子、甘佐京子、  
嶋澤恭子、本田可奈子、米田照美  
ワーキンググループ 豊田久美子、比嘉勇人、甘佐京子  
委員長 森下妙子（文責）